

海外調査研究派遣を終えて・・・派遣団長としての想い



堺市議会海外調査研究派遣団 団長 中井国芳

(民主党・市民連合)

日本だけではなく世界的課題ともなっています環境問題をキーワードとする海外調査研究をする為に、平成十九年度堺市議会海外調査研究派遣団を派遣することが議会で決定されました。

五名の議員がドイツ連邦共和国に派遣されることになりまして、私が派遣団の団長を務めることになりましたが、団長に就任するにあたり視察成果を市政発展に反映させるために、事前学習も含め万全な視察計画を練り上げねばと思いをめぐらしました。

具体的な視察内容や説明者と派遣団員との質疑応答等は調査研究報告書の通りですが、海外調査研究を通じて議員それぞれが、国柄や文化・価値観の違いを越えてそこに住む人々が何を求め、その意を汲んで為政者がどのような政治実践をしているかを皮膚感覚で学んでくることも大変重要であると思います。

例えば、ミュンスター市は自転車の町として世界的に有名ですが、なぜこのような町が実現できたのか？興味を持って訪問しました。現地での説明によりますと一九四五年の敗戦当時 町が爆撃によって廃墟化した状態だったようですが、当時の市民や為政者の協議で元のような町や建物に復元しようとの復興計画が定められ古風な雰囲気漂わせる現在のミュンスター市ができたとのことです。当然のことですが全く新しい都市計画で町の復興をしたわけではありませんので道路幅は、昔の狭い状態のままです。その後 急速に増加してきた自動車によって町中が渋滞・排気ガス公害が引き起こされ、その対策として道路拡張をす

るのではなく自動車を街中から極力排除する方向で検討され、公共交通としてのバスや自転車・徒歩を市民の移動手段として選択する都市計画が発案されて、結果として世界に名だたる自転車の町・環境の町として発展されています。又、戦災前と同じ町を復興しようと考えたのは、従前から住んでいた住民の保守思想の影響が大きいとの説明もありましたが……。視察に於いて大切なのは、ありのままの姿を学ぶことと共にその背景としての歴史も学ぶことがとても重要であると考えます。このケースは堺東エリアの中心市街地再開発計画に於いて大変参考になるのではと考えています。

そこで、事前研修を十分重ねることが大切と考え、それぞれの専門家を招聘させて戴いたり、ドイツ領事館に出向きましてドイツの最新事情について伺うなど、計五回の学習会を重ね準備を怠らないようにしました。また、事前研修期間と同時並行してドイツ国内に於いて、どこの自治体を訪問し、具体的にどのような施策内容の調査研究をするのか派遣団員相互に於いて喧々諤々の議論をしました。

それと云いますのも限られた日数で派遣目的を十分達成する為に、五項目にも亘る調査事項に関して一番適切な施策を実施している自治体や関係機関を選考することが、思いのほか難しかったのです。それは漠然とした海外情報が入手できましても自治体ごとの詳細な情報把握が大変難しいことであることが私たちや関係者の事前調査で理解できたからです。

そのようなことでしたので、派遣の詳細な内容が最終的に決定したのは平成二十年一月中旬頃となりました。派遣団長として各団員が十分な調査研究ができる計画内容とする責任がありますので、出発日(1月28日)が迫ってくる段階で最終計画がまとまった時には正直ホッとしました。それ程、派遣団員個々人が情熱を持って、この度の海外派遣調査研究に臨んでいたと云うことでもあります。

さて、ドイツ連邦共和国は十六州で成り立ち、それぞれに州法があります。日本流に云えば地方分権国家であるといえます。訪問した自治体や関係機関の施策がドイツすべての自

治体で画一的に実施されていると云うものではありません。

訪問先での調査研究項目に沿った詳細な施策や施策導入の目的等の調査は当然ですが、大切なのは住民の理解や財源・法律等の様々な制約のある中で如何にして環境問題をはじめとした各種施策を具体的に推進してきたか、そのエネルギーや知恵・やる気を引き出すリーダーシップと云うものがどうあるべきかに強い関心を持って学んできました。そのような視点で聞かせていただいていますと説明者の全ての方々が、自らの仕事に誇りと自信を持って臨んでおられるのが痛切に感じられました。

感想の末尾となりましたが、今回の視察でご尽力いただきました事前研修の各先生方、現地通訳の方々、なによりも私たち派遣団の為に丁寧なご説明・現地調査案内をいただきましたドイツ自治体関係者の方々、JTB 志賀同行通訳、木下随行職員の皆様に心より感謝を申し上げます。

この度の視察で学びましたことを今後の堺市政発展のために微力ですが、役立てて参りたいと存じますし、貴重な学びの機会を与えて戴きました堺市議会各議員の皆様方に厚く御礼申し上げます。



ドイツ NGO 気候同盟事務局視察にて団長挨拶